

平成30年度 第5・6回 東京都認知症介護実践リーダー研修

東京都では、認知症の人に対する介護サービスの充実を図るため、認知症介護に従事する方の研修を実施いたします。

このパンフレットは、今年度全6回の予定で実施する東京都認知症介護実践リーダー研修の第5・6回目についてお知らせするものです。

※平成30年度のリーダー研修は、今回が最終のご案内となります。

※本研修は、平成16年度までの東京都痴呆介護実務者研修(専門課程)をより充実させ、実施しているものです。

【ねらい】 本研修を通じて、受講者が以下のような目的を達成することをねらいとしています。

「認知症の人が有する能力に応じて自立した日常生活を営む」ことを支援するために、施設、事業所等における認知症支援のチームリーダーとして他の職員を指導し、チームケアのための調整を行うなど、認知症支援の質を向上させるための方策を具体的に展開する。

地域特性を活かして事業者等の連携を図るなど、地域の社会資源を活用して認知症の人を支援していくための方策を実践する。

【実施主体】 東京都

【受講要件】 東京都内の介護保険施設・事業所(居宅介護支援事業所を除く)に従事している介護職員等で、以下の要件を**全て**満たしている方が受講対象者となります。

- ①認知症介護実践者研修(痴呆介護実務者研修基礎課程を含む)を修了した方
- ②原則として、認知症の人の介護業務に5年以上従事した経験を有している方であって、実践者研修を修了し1年以上経過している方
- ③各介護保険施設・事業所において介護・看護のチームリーダー(主任・副主任・ユニットリーダーなど)の立場にあるか、または、それらの方々を指導する立場にある方
- ④区市町村又は地域での事業者連絡会等において、認知症支援の向上について役割を担うことができる方又はその意欲がある方

※指定認知症対応型共同生活介護事業所が、短期利用認知症対応型共同生活介護を行うに当たっては、本研修又は痴呆介護実務者研修専門課程(本研修の旧体系です。)、若しくは認知症介護指導者養成研修を修了していることが必要です。

⇒【申込方法参照】

【日程・研修内容】⇒詳細は5ページ以降をご覧ください。

講義・演習 8日間〔実習の課題設定・まとめを含む〕

実習 ・他施設実習 5日間 ※各回に定められた日程で実施します
 ・自施設実習 4週間

	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日	第6日	実習	第7日	実習	第8日
	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	他施設実習	講義・演習	自施設実習	講義・演習
第5回	12/4	12/5	12/6	1/11	1/16	1/17	<u>1/21~1/25</u>	2/8	2/9~3/10	<u>3/11</u>
第6回	12/4	12/5	12/6	1/11	1/16	1/17	<u>1/28~2/1</u>	2/8	2/9~3/10	<u>3/12</u>

【定員】 各回50名
 ※お申込みの状況によっては、ご期待に添えない場合もございます。

【受講料】 無料

【申込方法】 以下の方法によりお申込みください。なお、受講目的によって申込方法が異なりますのでご注意ください。

受講目的	申込方法
① 短期利用認知症対応型共同生活介護を行うため（指定認知症対応型共同生活介護に限る）	<p>添付の受講申込書（コピー可）に必要事項をご記入の上、<u>認知症介護実践者研修の修了証書（または、痴呆介護実務者研修基礎課程）のコピーを添付し、事業所が所在する区市町村の介護保険サービス事業者にかかる指定所管部署にお申込みください。</u></p> <p>*なお、内容により区市町村において受講申込みを受理できない場合も考えられます。詳細は区市町村にご相談ください。 *当方で受講回（第5回・第6回）の割振りをいたします。</p> <p>◆区市町村への申込期限 10月3日（水） （区市町村で取りまとめ後、研修室に<u>10月11日（木）（必着）</u>までにお送りください）</p>
② 上記以外	<p>添付の受講申込書（コピー可）に必要事項をご記入の上、<u>認知症介護実践者研修の修了証書（または、痴呆介護実務者研修基礎課程）のコピーを添付し、所属する介護保険施設・事業所等の長から、下記の宛先に郵送</u>してください。</p> <p>*当方で受講回（第5回・第6回）の割振りをいたします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 郵送先：〒112-0006 東京都文京区小日向4-1-6 東京都社会福祉保健医療研修センター 1階 東京都福祉人材センター研修室 内 「東京都認知症介護研修」担当 </div> <p>◆研修室直接申込期限 10月11日（木）必着</p>
<p>【留意点（①・②共通）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず講義・演習及び実習の全日程に参加できる方をご推薦願います。 ・受講申込書には公印を必ず押してください。（所属長や担当者の私印は不可） 	

※申込期限は、いずれの場合も必着とし、FAXによるお申込みは一切受け付けません。

【受講決定】 受講が決定された方については受講票を、受講いただけない方についてはその旨の通知を、所属する介護保険施設・事業所等の担当者あてに郵送いたします。また、区市町村を通じてお申込みをされた方については、あわせて各区市町村あてに通知いたします。

※通知の発送は11月1日頃を予定しています。
※必着期限を過ぎたお申込みについては、通知をいたしません。

【会 場】 **東京都社会福祉保健医療研修センター**
所在地 東京都文京区小日向4-1-6 TEL03-5800-3335
交通 東京メトロ 地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩10分
JR大塚駅下車 都営バス：錦糸町駅行き「小石川四丁目」
停留所下車 徒歩1分

駐車場はございませんので、車・バイク・自転車等でのご来場はご遠慮ください。

会場が変更になる場合がございます。詳細は受講票送付時にお知らせします。

- 【その他】
- (1) 研修当日は必ず受講票をご持参ください。
(受講票をお持ちでない方は、受講できません)
 - (2) 受講生には『事前課題』をご提出いただきます。別途指定する講義日程の受付でご提出ください。
 - (3) 実習については、4ページをご参照ください。特に自施設実習の実施に際しては、事業所のご理解とご協力をお願いします。
 - (4) 本研修の全課程を修了した方には、東京都知事の修了証書を交付いたします。
 - (5) やむを得ず研修を辞退する場合は、所属する介護保険施設・事業所等の長を通じて、「辞退届」を提出していただきます。区市町村の推薦を受けて申込みをされた方が辞退する場合は、区市町村を通じて辞退届をご提出ください。
 - (6) 原則として、研修当日の遅刻・早退・欠席は認められません。このような場合は、研修を辞退していただくこととなります。時間に余裕を持って研修会場へお越しください。
 - (7) 本研修の申込書等に記載された事項は、個人情報保護等の規程に基づき適正な管理を行い、本研修実施に関する業務以外に使用することはいたしません。
 - (8) 研修修了者の氏名等を事業所が所在する区市町村にお知らせします。また、必要に応じて、東京都認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等の関係機関に研修修了者の氏名等を情報提供いたします。

【お問合せ先】 東京都福祉人材センター研修室「東京都認知症介護研修」担当
TEL03-5800-3335（月曜日～金曜日 午前9時～午後5時）

**** 実習のご案内（認知症介護実践リーダー研修）****

- 共通テーマ 自分の職場、地域において、チームリーダーとして「認知症の人の尊厳を支える自立支援」に向けた具体的な取組みをどう進めるか考察を深める。

■ 実習期間

- 他施設実習は講義・演習の6日目終了後から7日目の間の5日間（土日祝日を除く）に、下記のとおり、各回に定められた日程で実施する予定です。

〔他施設実習 回数・日程一覧〕

回数	日程
第5回	1月21日（月）～1月25日（金）
第6回	1月28日（月）～2月1日（金）

- 他施設実習先は、当方で決定します。
- 自施設実習では、講義・演習7日目で他施設実習を振り返り、課題を再確認した後、受講生が所属する自施設・事業所にて約4週間の実習を行っていただきます。

■ 実習の進め方

- 他施設、自施設・事業所それぞれにおける実習経験を通して、認知症の人の尊厳を支える自立支援のあり方についての考えを深め、今後の具体的な取り組みへと考察を深めていくことが実習の目的です。
- 成果の高い実習とするため、講義・演習6日目「他施設実習の課題設定」で、実習のテーマと取組みの目標を具体的に作り上げていく学習を行います。
- 他施設実習（5日間）後、講義・演習7日目「自施設実習の課題設定」において、他施設実習の振り返りを通し、実習の課題を明確にした上で、自施設実習（約4週間）を行います。
- 自施設実習は、講義・演習を通じて各自が設定した実習課題に基づいて、自施設実習の期間中に各受講生の所属事業所で実習を行います。必要に応じて、カンファレンス等を設定していただき、他の職員の方の協力を得ながら、課題に取り組みます。
- 講義・演習8日目では実習報告を行い、実習の成果を共有するとともに、今後、各施設・事業所、地域等において実践していく具体的な取り組み方策について明確にしていきます。

所属長様へのお願い

- 自施設実習では、受講生は自施設・事業所において、研修で設定した課題に取り組みます。実習生の各所属におかれましては、受講生が実習期間中であることに十分ご留意いただき、実習課題に取り組むための時間の確保や、本研修の効果的な実施に御協力をお願いします。
- 自施設・事業所における実習について、その期間と実習の課題等を他の職員の方々へも周知し、実習内容やカンファレンスに協力していただくなど、施設・事業所全体として取り組んでいただく必要があります。所属長様には申込者として、職場への御配慮と課題への取り組みについての御協力をお願いします。

□リーダー研修プログラム 第5回

日	時	内 容	講師名(敬称略)
12月4日 第1日目	9:20~9:30	オリエンテーション	研修事務局
	9:30~10:00	研修の意義と目的	(東京都福祉保健局高齢社会対策部)
	10:00~12:00	認知症の専門的理解	松井敏史(医療法人社団大和会 大内病院 副院長/東京都認知症疾患医療センター センター長)
	13:00~14:00	認知症ケアの指導の基本的視点	市川裕太(グループホームかたらい ホーム長・ケアステーションかたらい ケアマネージャー/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームで支える認知症介護	鈴木恵介(株式会社シルバービレッジ 本部 地域連携課 課長 /東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
12月5日 第2日目	9:30~14:00	認知症ケアにおけるチームアプローチの実践	浅沼直樹(小山田高齢者在宅サービスセンター 管理者/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームメンバーのストレスマネジメントの理論と方法	小川恵(淑徳大学総合福祉学部 教授・精神科医)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
12月6日 第3日目	9:30~12:30	職場内教育(OJT)の理解と実践	諏訪茂樹(東京女子医科大学看護学部人文社会科学系准教授)
	13:30~16:30	職場内教育(OJT)の方法の理解と実践	
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月11日 第4日目	9:30~10:30	職場内教育(OJT)の計画立案方法の理解	藤澤良太(グループホームたちばな 計画作成担当者/東京都認知症介護指導者)
	10:30~12:30	認知症ケアに関する倫理	成田寛一郎(港区立特別養護老人ホーム白金の森 副施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:30	認知症の人の権利擁護	小川久美子(公益社団法人 あい権利擁護支援ネット 講師)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月16日 第5日目	9:30~12:00	認知症の人の家族支援方法	池田久栄(特別養護老人ホームカメラ 副施設長兼事業推進部次長/東京都認知症介護指導者)
	13:00~16:30	認知症の人への介護技術	河合幸人(デイサービス つむぎ狛江 管理者/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月17日 第6日目	9:30~12:00	認知症ケアの地域展開(フィールドワーク)	佐藤利弘(認知症高齢者グループホーム サンライズホーム 管理者/東京都認知症介護指導者)
	13:00~15:00	認知症ケアの地域展開(ミニシンポジウム)	コーディネーター 高浜将之(医療法人社団つくし会 介護事業統括責任者/東京都認知症介護指導者) シンポジスト 調整中
	15:15~16:45	他施設実習の課題設定	島田洋介(医療法人社団自晴会 企画監理本部 部長 /東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
他施設実習 1月21日(月)~ 1月25日(金)			
2月8日 第7日目	9:30~12:30	認知症の人へのアセスメントとケアの実践	高岡宏(マザアス新宿 施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:45	自施設実習の課題設定	不動田敏幸(特別養護老人ホーム鳳仙寮 教育担当主任/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
自施設実習 2月9日(土)~3月10日(日)			
3月11日 第8日目	9:30~16:30	自施設実習結果報告・自施設実習評価	不動田敏幸(特別養護老人ホーム鳳仙寮 教育担当主任/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
研修レポートの作成 (5,000字程度)		研修の受講を通じ、これから実践すべきケアの方向性と具体的な取り組み目標について、研修レポートを作成し、提出する。	

※プログラムによっては、第6回と合同研修となります。

□リーダー研修プログラム 第6回

日	時	内 容	講師名(敬称略)
12月4日 第1日目	9:20~9:30	オリエンテーション	研修事務局
	9:30~10:00	研修の意義と目的	(東京都福祉保健局高齢社会対策部)
	10:00~12:00	認知症の専門的理解	松井敏史(医療法人社団大和会 大内病院 副院長/東京都認知症疾患医療センター センター長)
	13:00~14:00	認知症ケアの指導の基本的視点	須原智子(株式会社日本ケアリンク 内部監査室長/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームで支える認知症介護	長澤かほる(㈱ケアサークル恵愛 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 /東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
12月5日 第2日目	9:30~14:00	認知症ケアにおけるチームアプローチの実践	島田孝一(㈱Professional Works 代表取締役/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームメンバーのストレスマネジメントの理論と方法	小川恵(淑徳大学総合福祉学部 教授・精神科医)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
12月6日 第3日目	9:30~12:30	職場内教育(OJT)の理解と実践	尾林和子(特別養護老人ホーム フローラ田無 施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:30	職場内教育(OJT)の方法の理解と実践	
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月11日 第4日目	9:30~12:30	認知症の人の権利擁護	小川久美子(公益社団法人 あい権利擁護支援ネット 講師)
	13:30~14:30	職場内教育(OJT)の計画立案方法の理解	藤澤良太(グループホームたちばな 計画作成担当者/東京都認知症介護指導者)
	14:30~16:30	認知症ケアに関する倫理	尾林和子(特別養護老人ホーム フローラ田無 施設長/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月16日 第5日目	9:30~12:00	認知症の人の家族支援方法	坂本孝輔(二本木交茶店 店長・生活相談員/東京都認知症介護指導者)
	13:00~16:30	認知症の人への介護技術	市本洋(デイサービス つむぎ狛江/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
1月17日 第6日目	9:30~12:00	認知症ケアの地域展開(フィールドワーク)	成田寛一郎(港区立特別養護老人ホーム白金の森 副施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:00~15:00	認知症ケアの地域展開(ミニシンポジウム)	コーディネーター 高浜将之(医療法人社団つくし会 介護事業統括責任者/東京都認知症介護指導者) シンポジスト 調整中
	15:15~16:45	他施設実習の課題設定	村松伸晃(医療法人社団 つくし会 事務長/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
他施設実習 1月28日(月)~2月1日(金)			
2月8日 第7日目	9:30~12:30	認知症の人へのアセスメントとケアの実践	奈良田敬(東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:45	自施設実習の課題設定	丸山寿量(特別養護老人ホーム 南陽園 サービス課長/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
自施設実習 2月9日(土)~3月10日(日)			
3月12日 第8日目	9:30~16:30	自施設実習結果報告・自施設実習評価	丸山寿量(特別養護老人ホーム 南陽園 サービス課長/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	研修事務局
研修レポートの作成 (5,000字程度)		研修の受講を通じ、これから実践すべきケアの方向性と具体的な取り組み目標について、研修レポートを作成し、提出する。	

※プログラムによっては、第5回と合同研修となります。

東京都認知症介護実践リーダー研修 受講申込書
 <受講希望者の所属する施設・事業所>の3 所在地コード番号 一覧

受講希望者の所属する施設・事業所の所在する区市町村の所在地コード番号を受講申込書の3 所在地コード番号欄に記入してください。

所在地コード番号	区市町村名	所在地コード番号	区市町村名
01	千代田区	32	町田市
02	中央区	33	小金井市
03	港区	34	小平市
04	新宿区	35	日野市
05	文京区	36	東村山市
06	台東区	37	国分寺市
07	墨田区	38	国立市
08	江東区	39	福生市
09	品川区	40	狛江市
10	目黒区	41	東大和市
11	大田区	42	清瀬市
12	世田谷区	43	東久留米市
13	渋谷区	44	武蔵村山市
14	中野区	45	多摩市
15	杉並区	46	稲城市
16	豊島区	47	羽村市
17	北区	48	あきる野市
18	荒川区	49	西東京市
19	板橋区	50	瑞穂町
20	練馬区	51	日の出町
21	足立区	52	檜原村
22	葛飾区	53	奥多摩町
23	江戸川区	54	大島町
24	八王子市	55	利島村
25	立川市	56	新島村
26	武蔵野市	57	神津島村
27	三鷹市	58	三宅村
28	青梅市	59	御蔵島村
29	府中市	60	八丈町
30	昭島市	61	青ヶ島村
31	調布市	62	小笠原村

